科目番号	54001	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	公衆衛生看護学概論 （Introduction to Public Health Nursing）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期

担当者	○岸 恵美子　他２名	区分	必修	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 公衆衛生看護学の理念と基本を理解するとともに，地域で生活する人々の多様な健康や生活上の問題を理解し，健康の増進，疾病予防，個々人や地域の健康課題の解決法，保健師としての支援活動および，保健・医療・福祉の関係者との連携支援体制について学ぶ。 【目標】 ・公衆衛生看護の理念や基盤となる概念について説明できる。 ・公衆衛生看護の対象と場へのアプローチ・支援方法について説明できる。 ・多職種連携について事例を踏まえて説明できる。	○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
	○	2.地域住民の自立を養う統合的支援能力
		3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
	○	4.政策や保健事業を開発する能力
	○	5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力
		6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回 第２回	公衆衛生看護の理念（定義、理念） 日本における公衆衛生看護の歴史、公衆衛生看護活動の目的・目標の変遷	岸 他２名
第３回 第４回	公衆衛生看護における倫理 公衆衛生看護の基盤となる概念（権利擁護、エンパワメント等）	
第５回 第６回	公衆衛生看護の対象①（個人・家族） 基本的な個人・家族へのアプローチ（家庭訪問、保健指導）	
第７回 第８回	公衆衛生看護の対象②（グループ・組織・地域） 基本的なグループ・組織・地域へのアプローチ	
第９回 第１０回	様々な公衆衛生看護の場（行政、職域、学校、福祉他）における活動	
第１１回 第１２回	公衆衛生看護活動の展開の基本と活用できる理論モデル	
第１３回 第１４回	諸外国における公衆衛生看護活動	
第１５回	公衆衛生看護活動の現状と課題	

事前・事後学習	事前学習：次の授業に向けてテキスト該当部分を通読すること。 事後学習：講義資料等を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	授業への参加度（討議他）30%，演習 40%、レポート 30%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	◎保健学講座 １ 公衆衛生看護学概論　メヂカルフレンド社　2022 ◎保健学講座 ５ 保健医療福祉行政論　メヂカルフレンド社　2022
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。